

富士の今と昔 ⑳



明治末期の吉原本町通りの写真です。江戸時代からの宿屋の主人、佐野甫さん(七十九歳)は「私の祖父の代までは、宿場町として大層な繁盛だったそう。子供のころには、馬車鉄道があつてね。ちょうど私の家の前に水だるが置いてあつて大宮(富士宮)行きの馬は必ずここで水を飲み、一息つけて出発したものだ。でも、昭和の初めに乗合自動車に取ってかわられてしまったよ」と話してくれました。



吉原地区の商業の中心街 現在の吉原本町通り

中央に馬車鉄道の線路が見えます



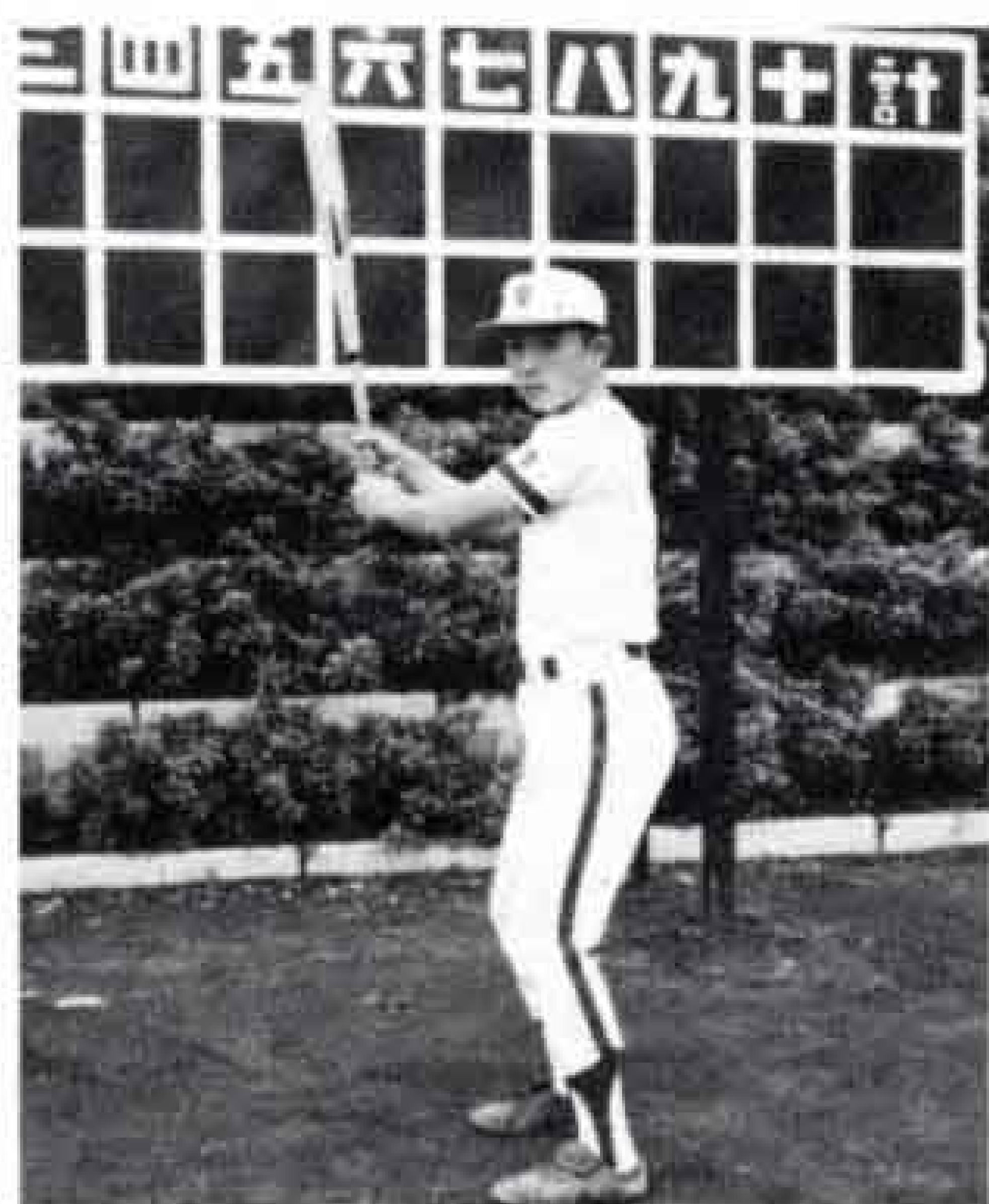
キャプテン 登場

⑲

大淵中学校

野球部

部長 山田哲史



僕たち大淵中学校野球部は、部員数六十五名。他の部活に比べると、大変人数が多い部です。今春完成した、市内で一番広く立派な



柏原保育園では、手づくりおもちゃの製作が盛んです。今回は、年長組のお友達が家で不用になった、牛乳パックや発泡スチロールの容器を使って、ロボットをつくりました。



「いつも、みんなで相談しながらつくるんだ。だから、カッコイ〜でしょ!!」と元気なお友達。

グラウンドで、毎日顧問の先生の指導のもと、練習に汗を流しています。

僕たちは、すでに新人戦、少年二部大会など、三つの大会に参加しました。五月上旬に行われた大会では、精一杯頑張り、準優勝することができました。

みんなで力を合わせれば、ここまでやれるんだということを知り、本当によい経験になりました。この経験を、残る大会、中体連で生かしたいと思います。

僕たちのチームは、今まで「気合」が欠けていたと思います。練習でも、試合でも声が出ないのが欠点です。

これからは、中体連優勝を目標として、声を出し、「気合」を入れて練習に励んで行きたいと思っています。あと二ヶ月で中体連。顧問の先生にも、父兄の皆さんにも、大変お世話になってるので、その分もしっかりやらなければならぬと思います。みんなで力を合わせて、残り少ない部活動を一生懸命頑張り、悔いの残らないようにしたいと思います。

こちら編集室

梅雨入りです。昨年より一週間早いそうです。うつつうつつ毎日ですね。あじさいの花が鮮やかです。じっと見ていると待ち遠しい夏の青空が心に広がってきます。